



令和8年度町政執行方針の 農業政策を問う

村中町長

農業者や生産団体との懇談の場を設け 課題解決に向けた方策を研究する



やまき よしひろ
八巻 良博 議員

□質問・八巻議員

令和8年度町政執行方針が示され、職（しごと）、働く人を応援するまちづくりの初めに農業政策を掲げられたことは、農業が比布町において大変重要な産業であることを示し、大変心強く感じています。

今回示された政策においては、スマート農業、農地の集積・集約化、多様な人材の確保などが示されていますが、国の示した政策と差異はないと思われれます。

また、今年の米価は昨年と比べて暴落するのではないかと予想もあり、米生産地として正念場となる年になりそうです。青果、畜産もさまざまな問題を抱えています。

選挙で公約された経営面積の小を問わない農業振興補助策等も含め、町長が考える独自の政策はどのようなものになるのでしょうか。

■答弁・村中町長

令和6年度に農業者の皆様のご協力をいただき実施しました「農業振興に関する意向調査」の回答では、物価高騰や気候変動に伴う高温障害、繁忙期の労働力不足などの課題を抱えており、また、省力化や環境配慮、農地整備など現状の営農活動への支援と、将来の地域農業に向けた環境整備への支援など、多様な施策が求められています。

現在進めている農業振興策は、本町農業の総合的な発展を図り、もって農業者等の生活水準向上と活力ある地域農業の推進を図ることを目的とした「比布町農業振興条例」に基づき進めているところです。町独自の支援策は、経営面積の大小を問わず、農業者等の意向に配慮することを目指し導き出しているものであり、国の政策と差異がないことは同じ方向であると考えます。

令和4年の農業振興についての一般質問の際は、町独自に、農地流動化促進対策事業や青果物等作付拡大、畑作物振興などへ支援を講じていることを答弁しました。

現在は、農地流動化促進対策事業などに加え、加速化するスマート農業技術導入や環境に配慮した取組みの支援策として「持続可能型農業支援事業」や、青果物等において、拡大要件を撤廃したほか、気候変動に伴う新たな栽培体系や新しい品種・作物導入などへ支援しています。

引き続き、農業者や生産団体との懇談の場を設け、それぞれの課題を洗い出し、解決に向けた方策として国の支援事業を研究するとともに、町独自の支援策は、きめ細やかにスピード感と柔軟性をもち、時代や営農活動の変化に対応できるように進めます。

□八巻議員 本町の農業は米が中心で、機械の大型化や価格高騰により新規参入のハードルが非常に高くなっています。将来の担い手不足が懸念される中、既存農家の施設や機械、土地を貸し出す仕組み、町独自の支援策などは検討できないでしょうか。

■村中町長 水稲は初期投資の大ききから新規就農のハードルが高いと思いますが、農業に携わっている方が中心となり、役場が後押ししていくような形が理想だと思っていますので、地域おこし協力隊制度の活用や、受け入れていただく農家の方のご協力もいただきながら進めていきたいと思えます。

□八巻議員 高齢化や離農により、手入れが難しくなった小さな畑やハウス跡地が町内でも散見されます。こうした土地を町民農園として活用できる仕組みを作っていたらいいと思えますが、町長の考えを伺います。

■村中町長 有効に活用されることは素晴らしいことだと思いますので、学校の授業や社会教育事業など、農業だけでなく社会教育としても活用できないか検討していきたいと思えます。

令和 8 年度各会計予算審議

令和 8 年度各会計予算は、議長を除く議員 8 人で構成する予算特別委員会（委員長：今井明信副議長）を設置し、3 月 10、11 日に審議を行いました。

委員会では各委員から事業に対する質疑や意見などが出され、活発な議論が展開されました。

定例会最終日の 3 月 12 日に今井委員長から委員会における審査結果の報告があり、原案のとおり可決しました。

■令和 8 年度会計別予算■

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	44 億 5,500 万円	44 億 3,700 万円	0.4%
国民健康保険特別会計	5 億 2,612 万円	5 億 2,012 万円	1.2%
後期高齢者医療特別会計	1 億 466 万円	8,203 万円	27.6%
介護保険特別会計	6 億 3,250 万円	6 億 2,500 万円	1.2%
観光事業特別会計	1 億 7,990 万円	2 億 4,015 万円	▲25.1%
簡易水道事業会計	2 億 7,387 万円	3 億 311 万円	▲9.6%
公共下水道事業会計	1 億 3,556 万円	1 億 938 万円	23.9%
合計	63 億 761 万円	63 億 1,679 万円	▲0.1%

町税増収の分析と活用方針

（植西委員）

Q 町税が大幅に増えている理由の分析と、伸びている分野（農業等）へ重点的に再投資して、さらなる増収につなげる考えはないか。

A 増収は主に米価の影響による農業所得の伸び等を試算したものの、税は一般財源であるため、特定分野への還元ではなく「公共の福祉」のために全体を見て配分するのが原則だが、基幹産業である農業の担い手育成などは重要な投資対象と考えている。

グリーンパークびっぶの運営

（佐藤（良）委員）

Q パークゴルフ場やキャンプ場の利用者を増やしていくためにも、専門の方に現在の施設に何が足りないのか、何が必要なのかをしっかりと検証してもらうなど、より良い施設運営を行う意識をもってほしい。

A 民間のノウハウや知恵をお借りすることも非常に重要だと思っている。新年度はプロの方の目をお借りすることも検討していきたい。

グリーンパークびっぶの使用料の値上げを

（八巻委員）

Q 施設の維持管理費が相当かかっている。パークゴルフ場の管理状況も良好であるため、使用料の値上げを検討してはどうか。

A 使用料は、近隣町と比較しても適正な金額だと思う。昨今の物価高騰等を考えると値上げを検討する時期にきていると思うが、まずは今後の施設運営をどうしていくのかを考えていくことを優先したい。



▲グリーンパークびっぶ

指定寄附金の予算計上額について

（谷口委員）

Q 令和 8 年度の予算額は実績に比べて低すぎないか。民間企業のように高い目標を掲げるべきでは。